

令和6年度 第2回 東金市総合計画審議会 議事録

件 名 令和6年度 第2回 東金市総合計画審議会
日 時 令和7年3月6日（木）午前10時から午前12時まで
場 所 東金市役所 第1庁舎3階 第1委員会室
出席者 審議会委員…席次表のとおり（出席者19名）
東 金 市…鹿間市長、子安企画政策部長、中田企画課長、加藤企画課副課長、
嘉瀬企画係長、小柳主査、小倉主任主事 ※事務局…企画課企画係

議 題 (1)「後期基本計画及び次期総合戦略の策定方針」について
(2)「後期基本計画の骨子(素案)及び次期総合戦略の骨子(素案)」について
(3) 議事録形態の変更案について
内容については、以下のとおり。

事務局…「令和6年度第2回東金市総合計画審議会」を開会いたします。
本日、御出席の委員数が過半数に達しており、東金市総合計画審議会条例第5条第2項に規定する開催要件を満たしておりますこと御報告いたします。
はじめに、会長より御挨拶をお願いいたします。

【会長あいさつ】

事務局…ありがとうございました。続きまして東金市長より御挨拶申し上げます。

【市長あいさつ】

事務局…議事の進行につきましては、審議会条例第5条第1項の規定により、「会長は、会議の議長を務めていただく」と規定されておりますことから、会長に議長をお願いしたく存じます。
よろしくお願いいたします。

【議題(1)・(2)】

会長…皆様方においては、円滑な議事進行への御協力をお願い申し上げます。
早速ですが、議題に移らせていただきます。

- 議題(1)「後期基本計画及び次期総合戦略の策定方針」について
- 議題(2)「後期基本計画の骨子(素案)及び次期総合戦略の骨子(素案)」について

これについては、関連するために、一括の説明とさせていただきます。
それでは、事務局に説明を求めます。
また、その際、事前照会に対する委員の皆様からの御意見の紹介を含める形で、よろしくお願いいたします。

事務局…資料及び内容等の説明（別添資料のとおり…議題(1)・(2)共通及び別紙イメージ図）

会長…事務局から説明がありました議題(1)・(2)について、委員の皆さま方から、率直に、様々な御意見をいただきました。
そこで、今回の柱立て、事前照会等につきまして、忌憚のない御意見ををお願いします。

会長…事務局からの説明を受け、考えや感じたことについて、委員の皆さま方から何かございましたら御発言いただきますようお願い申し上げます。

会長…最初に発言するというのは、難しい面もあるかと思いますが、私から発言させていただきます。デジタル化ということが、世の中では、当たり前に使われていると思います。そして、学校教育の場合は、更に推進していこうという中で、デジタル化することに対して、市役所の業務で言えば、単に機器の導入によるデジタル化をすればよいということではないと考えます。例えば、今、行っている業務が、時代的にふさわしいのか、また、充実すべきなのか、現状のままでよいのか検討する必要があると考えます。ただし、これは、大変難しいことで、現状、行政は、幅広い業務を限られた人数で、運営するにあたり、業務のあり方の見直しも必要であるとの御意見もございましたが、庁内連携を円滑化したり、市役所として可能な中で、デジタル化を幅広く捉え、併せて、システム化について進めてほしいと考えます。

会長…それでは、皆さま、どうぞ「自由」に語っていただいて結構です。よろしくお願いします。

委員…主要事業の「⑤ 公共交通ネットワークの再編」を「公共施設等の最適化の推進」に変更していくという点について、前回の審議会でも申し上げたとおり、公共施設の老朽化が散見されており、個人的に懸念していた。今回の変更を聞いて、単に「更新、改修、建替」ということではなく、「最適化」という言葉が含まれていることで、例えば、周辺施設の統合など色々な考え方ができるので、非常に良い表現であると思う。デジタル化は、単純にシステムを導入するだけでは、失敗する場合がある。その事業をシステム化するという時に事業内容をよく精査して、整理してシステム化していけないと、稼動した後に失敗がわかるということも経験した。事業をその都度、見直していくのは、本当に大変ではあるものの、無駄なシステムにならないように取り組んで欲しい。

会長…ありがとうございました。
事務局においては、今回の皆さまの御意見を聞いて、次回に向けたブラッシュアップにつなげていただきますようよろしくお願いします。

委員…まちづくりの5本の柱（施策の大綱）における 2「稼ぎ・にぎわうまちを創る」(2)「農業経営の強化・安定と森林の整備」について森林環境譲与税などの制度も本格的に運用が開始されており、また、時代の要請もある中で、「森林整備」については、「災害対策、環境対策」といった、市民生活に直結する様々な課題に備えるものと考ええる。そこで、この「整備」の部分について、現状の取組は、「保全」が主となっていると感じており、整備といった段階に至っていないと考える。その名称が適当ではないと感じている。

会長…御質問とのことですが、事務局が対応可能でしたら、お願いします。

事務局…御質問ありがとうございます。
御意見のとおり取組につきましては、「保全」であり、「整備」という段階には、なかなか至ることができていないというのが現状です。
しかしながら、後期基本計画におきましても、森林整備事業は、引き続き、関係計画に基づき、経営管理制度の活用なども軸とした中で、効率的な森林整備の取組を進めるといった方向性を

もって、引き続き、同様な整理をしていきたいと考えております。

加えまして、森林環境譲与税制度の運用開始を受け、「全面的な森林整備」を行うことが求められているところであり、御意見を賜りました「森林の整備」という表記につきましては、現行の「保全」の取組も含めた「整備」といった整理をもちまして、基本構想の体系における現行の表記を踏襲してまいりたいと考えております。

また、様々な課題への備えの対策については、市が保有する保安林等がありますので、継続的な維持管理の取組を通じて、災害時や森林の維持管理の普及啓発、木材利用の普及促進などに努めていきたいと考えております。

つきましては、「保全の先に整備」を持っていくような形で整理をさせていただければと考えております。

会長…「作る」から「使う」時代に移りつつあって、作ることも大事ですが、今あるものをいかに上手に使うか。

その点で言うと、保全というキーワードがございましたが、維持管理、整備、そこから経営といった概念を幅広く、地域の実情・要望に合った方策として打ち出してほしいと考えます。

事務局は、これから工夫してみてください。

委員…2点について。

●1点目

デジタル化・システム化について、いささか旧時代のものを想定しているように感じる。

単純にコンピューターを入れて、システムを入れる、クラウドのようなイメージで考えているかもしれないが、単なるデジタル化ではなく「A I」の利活用が重要なポイントである。

自治体でA Iを活用している事例は、あまり聞かないので、東金市は、いち早く進め、各部・課を横断的に捉えた、A Iの活用研究をしてほしい。

また、城西国際大学と連携してA Iをどのように行政に活用していくか、もしくは、コンサルタント会社にA Iを活用した行政運営について工夫・検討してもらうことで、今ある「マンパワー」に加え、A Iの力によって、飛躍的な発展が見込めると考える。

それは、他の自治体に対して、非常に魅力がある自治体になりうる可能性を秘めているということであり、今あるそういった技術について、10年後を見越して、今から歩み始めるぐらいの取組をしていただくことが必要かなと思います。

やはり、単なる電子化したシステムではなく、「次世代のデジタル活用という視点」を持って進めてほしい。

●2点目

一番重要だと思っている地域コミュニティについて、イメージ図中の真ん中、黄色い縦枠で囲まれた「まちづくりの基礎・土台」で、自治活動の維持活性化という記載があるが、私自身、30代・40代、地域で活動してる中で、その時のメンバーと同じメンバーが未だに活動している。

当時、私は若手で、その上の60代の人たちと一緒に活動してきたが、その世代がそっくり上に動いている中で、若手は、入ってこない。

このままだと、15年後に今の担い手がみんなリタイアして、地域コミュニティに担い手がいなくなってしまうのではないかと危惧している。

実際、区の組織から抜きたいという話もあり、最初から転居してきて入らないという人も増えてきている。

デジタル化やI Tの技術を活用し、デジタル行政区のような取組をすることによって、その担い手たちの負担を減らすことができるのではないかなと思う。

例えば、回覧板を回すのも負担が大きい、LINEやホームページ等で確認すれば良いのではないかな。

近隣住民でやるべきことと、デジタルにより、省力化できることを上手に整理し、将来の東金市のコミュニティのあり方をいくつかプランを提案し、地域で選択しながら、みんなが暮らしやすく、過ごしやすい地域づくりを工夫してほしい。

先進的な地域の事例なども例示し、議論していくべきものであり、また、その議論の前に情報提供していくことが大事だと考える。

今、話した取組を次の5年には、組み入れられることではないと思うが、その次の10年、15年を見越していくことも絶対必要なことだと考えるので、早い時期から取り組んでほしい。

会長…ありがとうございました。

それでは、審議会として、議題(1)の審議結果をまとめさせていただきます。
何か改めまして、御意見等ございますでしょうか。

～委員から「御意見等なし」のお声あり～

会長…それでは、事務局から提案のございました、「後期基本計画及び次期総合戦略の策定方針」のとおりといたします。

会長…簡単なまとめといたしまして、委員から御意見等がございましたが、システム化・デジタル化の部分でいえば、時代の変化が激しく、市役所が色々と考えているうちに、それぞれの立場の方が工夫して先に進めているといった、そのぐらい早い時代の流れの状況に置かれていると思います。現時点で、例えば、「このぐらいまでは、対応できそうだな」という考え方を示していただき、色々な御意見をいただけたらと考えます。
それから、コミュニティの高齢化は、どこでも同じ状態であり、行政は、「聞く耳」を持つことが大切になってくると考えます。
現場で携わっている方々の要望について、謙虚に聞き、取り入れるべきことを精査してほしいと考えました。
また、事務局は、これから検討していくことだと思いますので、委員のアドバイスをいただけたら幸いです。

【議題(1) 終了】

会長…それでは、事務局から説明がございました、議題(2)「後期基本計画の骨子(素案)及び次期総合戦略の骨子(素案)」について、委員の御意見をお伺いしたいと思います。

委員…総合計画の基本構想の5本柱があり、主要事業の方に重点戦略事業として5事業あるが、重点戦略事業の項目で、「子育て支援の充実と学校教育」は、基本の柱の1番に該当するかと思う。その他にも、この事業は、この柱に該当するといったかたちになっているが、該当がないものもある。
例えば、「安心して健やかな暮らし」の中に「自然災害」のことを含めてもいいし、バランスを考えてほしい。

会長…ありがとうございます。

委員がおっしゃっていただいたように、主要事業も含め、充実していく中で、そういった点も目配りをしていただけたらと思います。

委員…AIの活用は、非常に大事である。

人手不足に対して、人員確保や負担軽減等、活用可能であると考え。
時流を鑑み、「デジタル化・システム化」が古いかどうか分からないが、進んでほしいと思う。
もう1点としては、「公共交通ネットワークの再編」について、地元の商工関係者としては、経済の発展に非常に影響が大きいと考える。

東口改札の開設をきっかけに、「再開発された各所の駅」を視察した。
また、YouTube 等にも各種紹介されているが、再開発は、都心でも失敗しているのが現状である。
そのほとんどが、駅を中心とした「再開発」であった。
例として挙げると延岡駅は、再開発によって店舗がたくさん駅の中に入っていたが、今では、3 件ほどの店舗しか残ってない。
再開発の数年後（2、3 年後）にはそういう状態になっているというのは、失敗とを感じる。
しかし、東金駅は「駅舎」しかないので、周りが発展するチャンスや可能性が非常に残っている。
駅の中に物を入れると、その範囲でしか動かないが、発表された図を確認したところ、非常に良いと感じている。
駅周辺を開発しないと「人が流れない」ので、駅ビルの要素ではなく、現状、行われている東金市に合った交通体系及び周辺開発をしてほしい。

委員…骨子について、概ね賛成。

ここから先、関係する施策等に広げていくにあたり、市民の方々に説明し、興味を持ってもらうことがすごく大事なのではないかと考える。
また、ホームページ等に出すだけではなく、広報誌等にも出し、そういった中で、わかりやすく、親切的な広報活動、周知をしていくのが大事であると思う。

委員…「夢と希望」をもって、これまで頑張ってきたが、デジタル化・システム化、A I の急速な進展については、当時から想像もしていなかった。
デジタルに対応できない人も含め、今後の事業に係る検討を願う。

委員…●デジタル化とシステム化について

東京都では、高齢者に対するスマートフォンの購入補助を行っている聞いた。
城西国際大学で、東金市の高齢者向けスマートフォン教室を開催しており、大変、人気がある。
東金市在住の方からは、年度が変わっていないのに、「来年度も継続してスマートフォン教室をお願いします」という依頼が来ていて、高齢者の方たちも、みんなが、嫌で苦手意識を持っているわけではなくて、積極的にそこに関わろうとするような方たちがいる。
この分野は、人によって様々で、私の年代でも非常に苦手とする人もいれば、積極的にやっついこうとする人もいる。
時代の流れが、どんどん進んでいく中で、そういった人を取りこぼさないような施策をしていくことが重要だと思う。

●公共施設等の最適化の推進について

東金市は、義務教育後の高等学校がいくつもあり、大学もあり、公共交通機関を使ってくれる人も一定数いることが、他の自治体と比較して強みになる。
公共施設等の最適化の推進と併せて、まちおこし、まちづくりについて、そういった点も踏まえ、考えてほしい。

●基本構想について

東金という言葉が使われているのが、「東金商圈の維持、発展」という言葉のみであり、それ以外は、どこの自治体でも使える言葉が並んでいる。
東金の良さは、スマートフォン教室の方たちでいうと、東京や神奈川から移住してきている方々が多くいて、その人たちが、すごく魅力を感じてくれていることを、もう少しリサーチしていけると、非常に参考になると思う。

委員…総務省が行ってる SNS の年代別の利用状況調査があつて、高齢者層において、例えば、LINE が一番利用状況が多く、60 代の人でラインの利用率が 85% である。

60 代のほとんどは、使いこなしている。

そこに遅れている 15% をどうするかというのは、また別の問題としてあるが、逆に 85% が使っているものを、活用しない選択肢はないだろうと思う。

高齢の方は、デジタルが苦手というような印象で語るのではなく、しっかりとした調査に基づい

たエビデンスをもって、施策の展開をすると良いと感じる。

委員…地域コミュニティについてだが、これは、非常に深刻な状況である。

長く住んでいる人が、自治会を抜けていく。

回覧板を回すのもそうだが、輪番で役員を含む、全員でやるようにしている。

これだけでは、偏った人間だけで運営している状況にならざるを得ないというのが実態である。

例えば、LINEを使って、情報を共有することはできると思うが、欠落してしまう人については、どうやって防ぐのか、自治会自体の役割を認識し直すなど、少し考えていかないと衰退していくままであることが心配である。

委員…「街・道・自然が織り成す市域を創る」ということだが、雑草が繁茂している自然を指すのか、整った自然なのか。

ここ最近、農林業センサスがあった。

その中で、農業従事者の高齢化、そして廃業した方が多い状況であった。

地域の整備等、農業者が担っていると思うが、高齢者も多く、5年後、10年後を考えると回っていかないと思う。

農業経営の強化安定について、今後、具体的にどのように施策として反映していくのかが一番重要なのかなと思う。

委員…10年ほど前、総合計画に係る市民会議に参加した。

年齢は30代の方から70代の方までの方々が、東金市がこの先どうなっていくのかについて、すごく活気のある会議を行っていた。

この会議に参加するようになって、若い人たちの意見がしっかりと届いているのかどうか分からなかった。

そのような中で、若い人たちのことを考えた提案や意見があり大変ありがたいことと思う反面、それは、あくまで、「大人の目線」で「若い人がこう思っているのではないか」「若い人のためにこうした方がいいのではないか」というものであった。

高校も大学もあり、若い人たちの言葉が届くような機会や場が設けられないかと思う。

委員…今の委員からのお話、素晴らしいと思う。

若者の意見は、これから非常に大事になってくるのかなということで、是非、若い人の意見を吸い上げる機会を創出していただければありがたい。

委員…私は、観光に携わっているので、「稼ぎ・にぎわうまちを創る」の「魅力的な観光コンテンツの創出」について、日頃、協会の皆さん、会員の皆さんが主体で動いて、アイデアを出して、商工観光課に提案していくという形の中で、これ以上、広げていくとなると、市の体制については、言いづらいが予算を十分につけてほしい。

東金の観光の弱みは、通年型がなく、イベント型であること。

今、「みのりの郷東金」が頑張っているなかで、「桜まつり」や「やっさ祭り」といった経済効果がどうかということは、いつも追求される場所である。

例えば、シンボリックな観光の目玉になるものでいうと、今は、八鶴湖しかないと感じている。

もっと自慢してほしい東金の歴史がいっぱいあると言われても、大体の人は知らない。

東金の人、東金の歴史をあまり知らないし、他の人も興味を持たないことが多い。

SNSで日吉神社さんの宮司の方が発信していて、今年の初詣は、人数が一挙に増えた。

「テレビで有名な神社に行く前にまずは、地元へ挨拶してから行きなさい」ということを言ってくれたことが大きく、まずは、身近な神社に挨拶してからというような話をよく聞く。

SNSなどの発信、これは、非常に大事だと思う。

追求されるのは観客動員数だけで、実際の経済効果がどうだったのか数字がはっきり出せないが、観光コンテンツということに関しては、やはり、身近な娯楽で、東金の人、また、近隣の方が楽しんで東金に来てくれるような、コンテンツがあったらいいなと思う。

委員…まず、最初に、行政、大学、高校の生徒さんにいろいろな事業でボランティアをやってもらっていることに対して、感謝申し上げる。

さて、昭和100年、戦後80年、市制70年と長い年数が経っているが、これからの1年、1年は、猛烈なスピードでAI時代に入っていくと考える。

千葉県において、2月から試験的に24時間365日、土曜、日曜、祭日を問わず、AIによる福祉相談を行うこととなった。

AIに心があるのかと心配もあるが、誰もが時間を気にせず、気軽に相談できるのは良いことであると考えます。

委員…東金市も高齢者が非常に多くなってきている状況を受け、区長会としては、市役所の支援のもと、各地区の区長たちと情報共有・連携を図り、高齢者の健康のための各種協力依頼を行った。

地区によっては、高齢者が毎日のように地域の会館に来て、いろいろなことをやっている。

高齢者が元気に暮らしていけるような施策の展開を期待する。

委員…私は、文化とスポーツという幅広い分野に関わっており、市民のニーズが一番高いところではないかと考えながら、いかに多くの市民の方に楽しんでもらうかということ協議しているが、どうしても対象となるお客様が偏ってしまう傾向である。

中学生ぐらいから、高校生、大学生、高齢者における幅広いニーズをどのように捉え、対応していくかということは、私たちに課せられた課題ではないかと思う。

先程、話に挙げたが、移住者が、東金に魅力を感じているという点について、それぞれの活動の中で、東金市の魅力やポテンシャルをきちんと私達自身が把握し生かしていかなければならないということを改めて感じた。

委員…まちづくりの5本の柱について、この中で、「自然災害や犯罪」などへの対策ということで示している中で、5本の柱を進めていくにあたり、まず、第1に「安全安心な生活が確保されていること」が大前提であると考えます。

そのような中で、この計画の中に防災関係があまり出てきていないので、防災に強いまちづくりを行っていることをもっとアピールしたほうがよいと感じている。

委員…後期基本計画の中で東金駅の改札という新しい要素が加わるということで、それを踏まえた魅力づくりや魅力向上というのが、大事なタイミングになろうかと思う。

都市としてのビジョン、東金の魅力がこのように高まるというビジョンを創り、それを上手な形で打ち出し、広く理解されるように総合計画へ書き込んでいくことを期待する。

委員…●デジタル化について

その「目的が何なのか」というところで、1つの要素として、業務効率化が大きなものとしてある。加えて、もう一つは、利便性の向上である。

本来的には、データの利活用という発想も必要なのではないかなと思っているが、東金市は、デジタル化の入口に立ったところだという認識なので、まだ、利活用というところまでいかないかもしれないが、目的とその先を見据えて進めていく必要がある。

また、利便性の向上に関しては、こちらが考えて便利というような発想ではなくて、先ほど、他の方も言うように、実際のニーズを捉えることが何より大事だと思っている。

●AIについて

AIを活用して会社をTOBで買収したというニュースが流れていたかと思うが、あくまでAIは、手段でしかない、目的にしてはいけないと十分に注意をしていく必要があるのではないかなと思っている。

また、かなりの人たちがデジタルについて、何らかの対応は取れている時代なので、ぜひ活用してほしい。

実は、私、市外に居住しており、東金というエリアには、あまり馴染みがなかった。
外から来た人間からすると、非常に面白いまちだと思う。これを皆様がどこまで認識しているのかわからないが、魅力はある。
こちらに赴いて1年超となるが、大好きな街である。九十九里も近く、非常に面白いところ。
これをもっと伝えていくために何が必要なのかを考えると、発信力だと思う。
ターゲットは、若い人だと考える。どう取り組んでいくのかというのが極めて大事である。
例えば、城西国際大学や千葉学芸高校の若い人たちの意見、発想というのをぜひ参考にした方が、より実効性のあるものになるのではないかと思いますので、検討願う。

委員…事務局案のとおりで良いと思う。

1点確認だが、事前照会の意見等での挙がっていたが、消滅可能性が現在は、改善されたこと。
理由としては、外国人が増えたということで、先ほど調べたら、東金市の外国人の方の、今年の6月末時点の人口が県によると2,094人。
割合としては3.7%で、千葉県全体の割合が3.5%で同程度である。
まちづくりの柱にある「5 ところ豊かなひとを創る」の(4)「グローバル化への対応と地域間交流の推進」とあるが、今後も多分東金市は、成田空港の機能強化もあるので、外国人住民の方も増えることが予測される。
引き続き、外国人住民の交流推進について、基本計画に盛り込むことも検討いただきたい。

会長…皆さま、活発な意見交換をありがとうございました。

世代の違いという点に関しては、本当に「実感力」を持たないといけなかったと感じました。
また、市の魅力、ポテンシャルなどと言われるが「東金らしさ」、その言葉で終わらないで、具体的なその「らしさ」とは、どういうことなのか。
市外から来た人は、意外と高く評価しているが、地元がそう感じていないという状況もあることが分かりました。
情報発信よりも「聞く」ということに重きを置くべきだと思います。
・公共施設等の最適化の推進という書き方をしていたが、駅周辺をどう進めていくのか。
・公共交通ネットワークも含めながら、最適化だとか駅周辺をどうするか。
是非とも、主要事業の中に組み入れることの検討などを進めていただきたい。
デジタル化・システム化の推進について、複雑な表現や内容を書くとは分かっていくことも考え、今回の表現にしましたが、そもそもこれを進めるにあたり、「どのような考え方」で、「何を指して」「対象は何か」というようなことを含めて検討してもらいたい。
事務局から何か補足があれば、お願いします。

事務局…事前の意見照会に係る委員からの御意見等につきまして、補足をさせていただきたく存じます。

●教育分野のデジタル化の関係の部分です。

「今までどういった取り組みしてきているのか」「今後どういうふうに考えているのか」ということをご質問いただいております。

デジタル化の普及による環境の変化は、著しい状況であり、特に教育現場では、「GIGAスクール構想」、1人1台の端末の配備といった取組をしております。

また、プログラミング教育やそれを支えるICT支援員の配置などもやってきております。
加えまして、令和6年度から「電子黒板」も導入いたしました。

今後の使用頻度や、実際のデジタル教育が、今後どうなっていくのかにつきましては、必要な配備等も含め、関係事業において、今後の展開を示していきたいと考えております。

●公共施設の最適化について

今回の重点戦略事業で位置付けられている、「公共交通ネットワークの再編」を「公共施設の最適化の推進」に置き換えるような提案をいたしました。

先ほども多くの御意見もいただく中で、「公共交通政策」が含まれているのは、理解したが、明記されない分、ぼやけてしまうのではないかと御意見もございました。

この点につきましては、並記というかたちで「公共施設の最適化に非常に密接な、公共交通

ネットワークに係る最適化の推進」という整理をし、両立させていきたいと考えます。
なお、名称につきましては、明確に定まっている状態ではございませんが、今後の審議会におきまして、提案させていただきたいと思っています。

会長…それでは、審議会として、議題(2)の審議結果をまとめさせていただきます。
改めまして、何か御意見等ございますでしょうか。

～委員から「御意見等なし」のお声あり～

会長…それでは、事務局から提案のございました、「後期基本計画及び次期総合戦略の策定方針」のとおりといたします。

【議題(2)終了】

【議題(3)】

会長…それでは、議題(3)「議事録形態の変更案」に進めさせていただきます。
事務局に説明を求めます。
また、その際、事前照会に対する委員の皆様からの御意見の紹介を含める形で、よろしくお願いします。

事務局…資料及び内容等の説明(別添のとおり)

会長…事務的な内容ですが、皆様いかがでしょうか。
これまでは、慣例的に全文を掲載する形態としていたとのことですが、内容によっては、要旨のみでも良いのではないかと感じておりました。
それから皆さま方が、丁寧な口調でお話されているところがございますので、そういう点については、可能な限り、事務局にお任せいただいて、簡潔化していただければと思います。

会長…審議会として、議題(3)の審議結果をまとめさせていただきます。
事前の意見照会におかれまして、委員の皆さま方からは、賛成の御意見をいただいておりますが、改めて、御意見等ございますでしょうか。

～「委員から意見等なし」のお声あり。～

会長…それでは、事務局から提案のございました、「議事録形態の変更案」のとおりといたします。

【議題(3)終了】

会長…その他に何か、事務局からございますか。

事務局…今後の総合計画審議会のスケジュールについて、共有いたします。
前回配付したものと同様のものとなりますが、資料のとおり、来年度は、全5回を予定しております。
引き続きよろしくお願い申し上げます。

会長…これから1年間をかけて整理・検討していくとのことでしたが、皆様の御意見や御提案をベースにして、検討を進めていければと思います。

御多忙な皆さま方ですので、あくまで予定として、状況に応じて、回数を減らしたり、増やしたりしていくということで御承知おきいただけたら幸いです。

市長…長時間に及ぶ御審議に加え、貴重な御意見・御提案をいただきありがとうございました。

皆さま方からいただきました御意見等をしっかりと政策に反映させていただきます所存です。

引続き、御指導賜りますようお願い申し上げます。

事務局…それでは、以上をもちまして、令和6年度第2回東金市総合計画審議会を閉会させていただきます。

本日は、公私ともお忙しいところ、御出席、御審議をいただき、また、貴重な御意見や御提案をいただきありがとうございました。